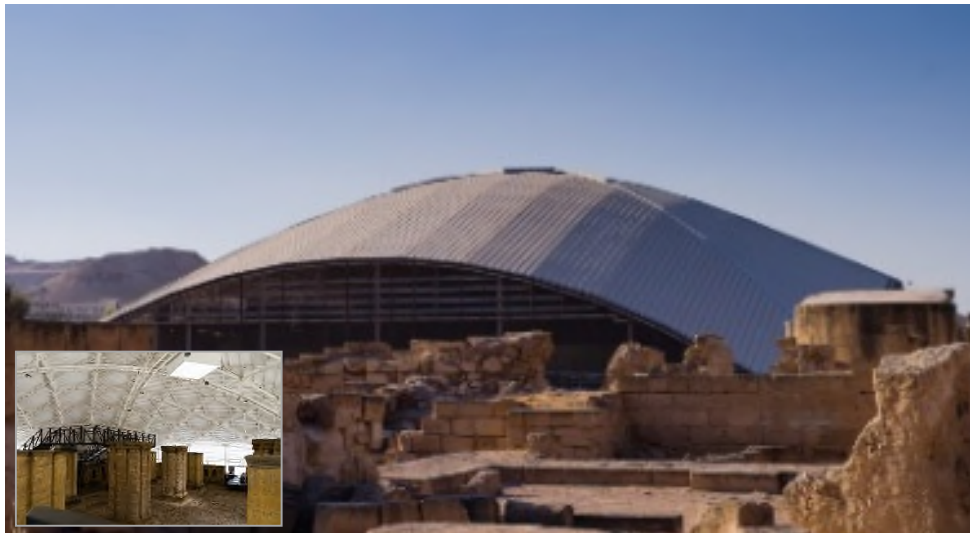

パレスチナ宮殿遺跡 観光施設整備でシェルターに当社屋根材が採用されました。

中東パレスチナにある宮殿遺跡（ヒシャム宮殿）観光施設整備の屋根付きシェルターに当社屋根材（品名：立平葺き）が採用されました。

この遺跡の整備は、日本政府 ODA の一環で、中東最大規模と言われる広範な遺跡を、屋根付きのシェルターで覆い、大浴場モザイク床の保護、観光客用の通路を設置し展示施設の整備を支援したものです。

これにより、今までは一部しか公開できていなかったモザイク床などの遺跡が全面的に公開できるようになりました。

シェルターの施工について、当社も海外事業の一環として、株式会社マツダコンサルタンツ様が設計主体となり屋根材の立平葺きをご採用いただき、設計協力や施工指導などで参画致しました。



写真提供：株式会社マツダコンサルタンツ

【製品概要】

屋根材：立平葺き W=400 mm

屋根材質：スーパーフロールボンド(*) t=0.4 mm

(*)スーパーフロールボンド(メーカー：日鉄建材株式会社)は、耐候性に優れたふっ素樹脂フィルムを高耐食鋼板に特殊接着剤でラミネートし、過酷な環境下でも色褪せることなく鮮やかな色合いを長期間保持し、耐候・耐久性、耐薬品性、耐汚染性、加工性に優れた性能を持つふっ素樹脂ラミネート鋼板です。

【案件概要】

建設地：パレスチナ国ジェリコ市

屋根面積：2,700 m²

【参考／ヒシャム宮殿遺跡】

パレスチナのジェリコにあるヒシャム宮殿遺跡は、ウマイヤ朝時代（8世紀）の初期イスラム建築の代表的な文化遺産であり、大浴場のモザイク床は単体では中東最大級（約825 m²）。一般文化無償資金協力「ジェリコ・ヒシャム宮殿遺跡大浴場保護シェルター建設及び展示計画」では、大浴場モザイク床の保護、展示施設の整備を支援した。（外務省ホームページより：抜粋）